



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月27日

上場会社名 株式会社メディアリンクス 上場取引所 東  
 コード番号 6659 URL <http://www.medialinks.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷川 渉 TEL 044-589-3440  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月28日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,589	20.7	△637	-	△654	-	△662	-
2021年3月期第3四半期	1,316	△17.7	△490	-	△502	-	△513	-

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △617百万円 (-%) 2021年3月期第3四半期 △528百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△117.31	-
2021年3月期第3四半期	△90.90	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	2,310	802	32.9	134.86
2021年3月期	3,278	1,418	42.0	244.09

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 761百万円 2021年3月期 1,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年3月期	-	0.00	-		
2022年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	16.7	△431	-	△456	-	△499	-	△88.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	5,675,300株	2021年3月期	5,675,300株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	32,856株	2021年3月期	33,756株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	5,642,080株	2021年3月期3Q	5,640,363株

（注）当社は、株式給付信託（J-ESOP）を導入しております。当該株式給付信託が保有する当社株式を、期末自己株式数として計上しております。また、期中平均株式数（四半期累計）の計算において、当該株式給付信託が保有する当社株式の数を控除しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、ワクチン接種率の増加による新規感染者数の減少及び感染予防策を講じた外出規制の緩和に伴い、緩やかな回復傾向にありました。しかし、世界的には新型コロナウイルス感染症の再拡大や世界的な半導体不足等の影響により、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは米国及び日本を中心に事業展開を進めました。アジア市場は、前年同期に比べ増収となりました。これは、韓国において放送局向けのプロジェクトの売上を計上したことによるものです。北米市場は、前年同期に比べ増収となりました。これは、大手通信事業者より、新たな設備投資案件を受注し、その一部の売上を計上したことによります。オーストラリア市場は、大手通信事業者に対してメンテナンスサポートサービスを提供し、前年同期とほぼ同程度の売上となりました。EMEA市場は、前年同期と比べ増収となりました。これは、ロシアの大手放送局に対して、上期に設備拡張プロジェクトの売上を計上したためであります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,589百万円（前年同期比20.7%増）となりました。製品グループ別内訳では、ハードウェア製品が1,100百万円（同26.5%増）、その他が489百万円（同9.4%増）となりました。海外売上高比率は、前期の79.1%から76.8%へと減少しました。利益面においては、売上総利益率は53.4%となり、売上総利益は848百万円（同3.7%増）となりました。

経費面では、販売費及び一般管理費は、1,485百万円（同13.6%増）となりました。これは、成長を図るための研究開発費を前倒ししたことや新型コロナウイルス感染縮小による経済活動の再開により、主要な展示会が開催されたことや、出張費が増加したことなどによるものです。なお、研究開発費は555百万円（同22.8%増）となりました。

損益面では、営業損失は637百万円（前年同期は営業損失490百万円）、経常損失は654百万円（前年同期は経常損失502百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は662百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失513百万円）となりました。

なお、当社グループは、映像通信機器のメーカーとして事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、セグメント別に事業を分類していません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ968百万円減少し、2,310百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少397百万円、受取手形及び売掛金の減少790百万円によるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ352百万円減少し、1,508百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少186百万円、短期借入金の減少90百万円によるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ616百万円減少し、802百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失662百万円の計上による利益剰余金の減少によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しは、2021年5月7日に公表した2022年3月期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2022年1月27日に公表いたしました「2022年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	943,576	546,771
受取手形及び売掛金	1,116,708	326,825
商品及び製品	643,466	856,953
仕掛品	694	1,870
原材料及び貯蔵品	298,943	274,701
その他	150,125	165,548
流動資産合計	3,153,512	2,172,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,051	969
工具、器具及び備品(純額)	36,813	41,899
有形固定資産合計	37,864	42,868
無形固定資産		
ソフトウェア	1,895	5,957
その他	1,652	931
無形固定資産合計	3,548	6,888
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	51,790	56,539
その他	31,608	31,330
投資その他の資産合計	83,398	87,869
固定資産合計	124,810	137,625
資産合計	3,278,322	2,310,294
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	320,350	265,385
短期借入金	180,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	405,702	220,083
未払法人税等	9,061	2,934
前受金	51,803	38,439
その他	138,996	128,762
流動負債合計	1,105,913	745,602
固定負債		
長期借入金	706,664	712,799
リース債務	8,048	5,843
株式給付引当金	8,960	7,873
長期未払金	5,740	5,740
その他	24,631	30,132
固定負債合計	754,043	762,387
負債合計	1,859,955	1,507,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,923	1,681,923
資本剰余金	116,264	116,264
利益剰余金	△411,471	△1,073,354
自己株式	△37,043	△36,055
株主資本合計	1,349,672	688,777
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	27,345	72,178
その他の包括利益累計額合計	27,345	72,178
新株予約権	41,350	41,350
純資産合計	1,418,367	802,305
負債純資産合計	3,278,322	2,310,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	1,316,399	1,588,576
売上原価	498,947	740,670
売上総利益	817,452	847,906
販売費及び一般管理費		
役員報酬	102,367	103,831
給料及び手当	386,779	431,332
研究開発費	451,933	555,130
その他	366,616	394,852
販売費及び一般管理費合計	1,307,695	1,485,144
営業損失(△)	△490,243	△637,238
営業外収益		
受取利息	53	4
助成金収入	1,495	1,703
その他	40	58
営業外収益合計	1,589	1,765
営業外費用		
支払利息	10,554	11,542
為替差損	1,911	6,532
その他	1,170	678
営業外費用合計	13,635	18,752
経常損失(△)	△502,290	△654,226
税金等調整前四半期純損失(△)	△502,290	△654,226
法人税、住民税及び事業税	7,194	5,191
法人税等調整額	3,215	2,467
法人税等合計	10,408	7,657
四半期純損失(△)	△512,698	△661,883
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△512,698	△661,883

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△512,698	△661,883
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△15,022	44,833
その他の包括利益合計	△15,022	44,833
四半期包括利益	△527,720	△617,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△527,720	△617,050
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日公表分。「以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱に従っておりますが、利益剰余金の期首残高へ与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。